

東信地方の薬用人参(朝鮮人参)栽培

トピック(テーマ)	東信地方の薬用人参(朝鮮人参)栽培			
ねらい	長野県の東信地方はかつて、薬用人参(朝鮮人参)のわが国最大の産地でした。そうなるまでには、長年にわたる先人たちの試行錯誤・苦心の積み重ねがあった。その経緯を調べる。			
キーワード	薬用人参 朝鮮人参 御種人参 朝鮮種人参 徳川吉宗 人参栽培 めかご人参 五郎兵衛新田 志賀村 神津孝太郎 小諸藩 長野県野菜花き試験場北御牧試験地			
概要を知るためのツール	1	書名	近世日本の文化と社会	
		著者名	大石慎三郎／編	
		出版社	雄山閣出版	
		出版年	1995.9	
	内容紹介	斎藤洋一(当時:財団法人信州農村開発史研究所主任研究員・浅科村五郎兵衛記念館学芸員)氏の「信濃国佐久地方への朝鮮人参栽培の導入」が所収されている。長野県東信地方がわが国における朝鮮人参の一大産地となるまでの様々な試みや失敗の状況を知ることができる。		
資料リスト	1	書名	人蔘史 [復刻版] [全7巻]	
		著者名	今村鞆／著	
		出版社	思文閣	
		出版年	1971.6	
		内容紹介	朝鮮総督府専売局発行の復刻版 人参に関する年記、思想、政治、経済、栽培、医薬等について詳しくまとめられている。	
	2	書名	日本人参史	
		著者名	「日本人参史」編集委員会／編	
		出版社	日本人参販売農業協同組合連合会	
		出版年	1968.3	
		内容紹介	日本に朝鮮人参が伝わってから、幕府や諸藩の手によって経営支配されていたものが、明治維新以来民間の手に移り、協同組合運動による農民の手で発展してきた経緯がまとめられている。	
	3	書名	朝鮮人参秘史	
		著者名	川島祐次／著	
出版社		八坂書房		
出版年		1993.2		
	内容紹介	人参について文化史、科学史に分け、朝鮮人参に関する広範な基本的知識がまとめられている。		
4	書名	野州—国御用作朝鮮種人参の歴史		
	著者名	熊田一／著		
	出版社	熊田一先生著作頒布会		
	出版年	1979.5		
	内容紹介	江戸時代、野州(現栃木県)において取り組まれた朝鮮人参の国産化の始まりから終期までの経緯が詳しくまとめられている。		
インターネット情報	1	サイト名	長野県内図書館横断検索サービス	
		URL	<a href="http://www2.library.pref.nagano.jp/">http://www2.library.pref.nagano.jp/</a>	
		概要	朝鮮人参に関する資料の県内図書館の所蔵状況を調べることができる。	
	2	サイト名	長野県市町村史誌等目次情報データベース	
		URL	<a href="http://misuzu-mokuji.net/">http://misuzu-mokuji.net/</a>	
		概要	市町村史誌等に朝鮮人参に関する項目が載っているかを調べることができる。	
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ	
		URL	<a href="http://iss.ndl.go.jp/">http://iss.ndl.go.jp/</a>	

東信地方の薬用人参(朝鮮人参)栽培

		概要	朝鮮人参に関する資料を、図書・記事論文・新聞・デジタル資料などから探ることができる。
新聞	1	記事	砂栽培
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊35ページ
		年月日	2013.7.23
	2	記事	朝鮮ニンジン
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊13ページ
		年月日	2006.12.29
	3	記事	ワイン開発
		発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊17ページ
		年月日	1998.7.25